

医療を通じて活気ある津山に

私の専門的見地から述べますと、津山の誇れる特色は、日本の近代化の原動力の一つが、津山出身の洋学者から生まれたこととです。この意味で、リニエールされた洋学資料館を津山の財産から日本の財産にしたいものです。

オランダのライデン市にあるシーボルト・ハウスと友好館提携を結ばれていますが、その収蔵品の写真展示と音声による解説を洋学資料館に導入してはどうでしょうか。シーボルトと宇田川榕菴との交友をみると、日本の医学の黎明期に宇田川家三代が果たした役割がよく分かります。箕作阮甫など、洋学者の生涯を上映したり、伝記などを電子配信することも必要でしょう。

美作地方は、優れた洋学者を輩出していますが、史跡も多く残されていると聞いています。そこで、学者の史跡を巡る見学コースなどを整備してはどうでしょうか。郷土出身の小説家に依頼して歴史小説を出版し、さらにテレビドラマに組み込んでもらえたら観光振興にも弾みが付き、すばらしいですね。

また、若者の集まる活気ある津山市を作るために、医学関連の専門学校を誘致する計画はどうでしょうか。今後ますます医療関連の人材が必要で、津山に医療職場を志す学生が集まり、津山で教育を受けた優秀な人材が全国に巣立つなど楽しい計画です。全国や海外から津山に患者さんが集まるように専門医療の最先端治療を受けることができる拠点施設を造るのも面白いですね。医療の関連会社も集まってくるかもしれません。

◎こうしま いさお 昭和27年美咲町生まれ 津山高校、鳥取大学医学部を卒業。川崎医科大学助教、岡山大学形成外科教授を経て、現職。

市政アドバイザーからの
津山への提言



東京大学医学部付属病院 副院長
光嶋 勲さん(東京都)

今回は、欧米を中心とした海外の大病院でも手術の執刀を経験されるなど、医学の分野で活躍されている光嶋さんから提言をいただきました。

津山市下水道中期ビジョン パブリックコメント結果報告

9月1日～30日受け付けのパブリックコメントにたくさんの意見をいただき、ありがとうございました。多くの意見の中から、その一部と意見に対する回答を紹介します。



<意見>

<回答や方針など>

●下水道整備区域に関すること

下水道の整備は、ある程度投資効果が見込める場合に行うべきだと思います。投資効果に一定の基準を設けて、基準外の地域では合併処理浄化槽を推進するべきではないでしょうか

今回のビジョンでは、投資効果が期待できる区域を下水道整備区域として設定していきます

全市に下水道が整備されるのはいつ頃になりますか

下水道は、全市ではなく、整備効果の高い区域に整備していきます。今回、見直した下水道整備区域は、おおむね40年後を目標に整備していきます。その他の区域は合併処理浄化槽の設置を推進していきます

山の中の一軒家まで公共下水道を接続するのは財政的に難しいと思います。公共下水道ではなく、合併処理浄化槽の普及で水洗化を進めてはどうでしょうか

●下水道使用料に関して

下水道使用料を安くしてほしい

下水道使用料は、下水道の事業を行う上で大切な財源です。経営の健全化のためには適切な料金設定が必要です

●事業経営に関して

下水道の建設や維持管理には相応の職員数が必要だと思います。委託などにより人件費削減をせず、適正な人員で安心できる公共サービスを提供してほしいと思います

今後とも人員面でも効率的で安心出来る下水道事業経営を進めていきます

●その他

南部ポンプ場(伏見町)の建設予定はどうなっていますか

建設については、町内会などの意見を聞きながら、検討していきたいと思えます

旧加茂町のときに農業集落排水事業で整備されるはずでしたが、合併後取り組んでいるのでしょうか

加茂地域で、合併時に農業集落排水の整備が未着工の地域については、農業集落排水整備を行わず、今後、下水道と合併処理浄化槽で整備する予定です

認可区域外では合併処理浄化槽を設置する計画ですが、税金で下水道を整備する地域と整備されない地域とでは公共サービスに格差が生じるように思います。格差を埋める手法を考えているのでしょうか

格差が生じないようにするため、合併処理浄化槽を設置するための補助金制度があります

整備が終了したエリアへの下水道の新規接続への考慮をしてくれませんか

整備が終了した区域の新規接続は個別に検討しますのでご相談ください

※上記は、意見の一部です。詳しくは、市ホームページ、下水道課または各支所産業建設課で閲覧できます

問い合わせ先 下水道課(市役所6階) ☎32-2100



都市計画の変更案縦覧のお知らせ

都市計画道路の見直しについて、変更案の縦覧を行います。

路線名と削除する区間

路線名	削除する区間
中央線	安岡町～勝間田町
井口小田中線	鉄砲町～小田中
皿一宮線	上河原～東一宮
上河原小原線 (皿一宮線に編入)	上河原～小原
院庄横山線	院庄～平福
一宮野辺線	東一宮～東一宮

縦覧期間 1月13日(金)～27日(金)の執務時間内(平日のみ)

縦覧場所 県都市計画課と市都市計画課

意見書提出方法 県都市計画課または市都市計画課に直接提出

提出様式 自由

締め切り 1月27日(金)

問い合わせ先 県都市計画課(県庁6階) ☎086-226-7492または市都市計画課(市役所5階) ☎32-2096

乗り降りのしやすい低床バスの「小循環線」。買い物や通院、まちなかの観光や散策などにも便利です。皆さんご利用ください。

※運行ルート・停留所・運行時刻については、今月の広報つやまに折り込みの時刻表をご覧ください

※小循環線の運行開始に伴い、東循環線・ごんご加茂線・ごんご勝北線・市営阿波バスの運行時刻も変更になりますので、ご注意ください

問い合わせ先 中鉄北部バス ☎27-2827、産業政策課 ☎32-2075